

第五次羽村市地域福祉計画について

(答申)

平成 29 年 12 月 27 日

羽村市地域福祉計画審議会

はじめに

平成28年12月、厚生労働省が「地域における住民主体の課題解決力強化・相談支援体制の在り方に関する検討会（地域力強化検討会）」の中間とりまとめを公表しました。

このことは、少子高齢・人口減少社会の進展、核家族化の進行や都市化の発展とともに家族や地域の絆が希薄化し、お互いに地域で助け合い、自らの課題を主体的に解決していく「力」が失われつつあり、今まさに「地域のつながり」が強く求められているといえます。

このような時代にあって、本審議会は市が策定する「第五次羽村市地域福祉計画」について、市長から諮問を受け審議を進めてきました。

審議にあたっては、地域福祉という抽象性の高い概念について、委員が共通した認識を持ち、地域においてそれぞれ活動している立場から多くの意見が出され、議論を深めてきました。

また、市が本計画の策定のために市民を対象として実施したアンケート調査の結果について、地域の声を伝える資料として、精査・分析を行うとともに、第四次羽村市地域福祉計画の進捗状況や成果について事業の検証を行った上で、第五次の計画はどのようにあるべきかを検討しました。

審議会では、国が推進する「我が事・丸ごと」の地域づくり（地域共生社会の実現）に向けた取り組みとして必要なものは何か。また、最近の社会状況を踏まえ、必要とされる体制等の意見が委員から多く寄せられました。

特に「災害時の支援体制の整備」、「町内会・自治会活動の活性化支援」、「虐待防止支援ネットワーク等の強化」や「ひきこもりに対する支援策」等については、現代の社会状況を鑑み、活発な意見交換が行われました。

本審議会としては、市がこの答申を踏まえ、「地域で困っている人々を他人事ではなく我が事にとらえ、すべての人がいきいきと暮らせるよう、地域全体で共に支え合い共に生きる地域共生社会の実現」を目指して計画を策定されますよう、切に希望します。

平成29年12月27日

羽村市地域福祉計画審議会
会長 雨倉久行

目 次

第 1 章 計画策定にあたって

- 1 計画策定の背景 3
- 2 計画の位置付け 4
- 3 計画の期間 5
- 4 計画の策定体制 6

第 2 章 地域福祉をめぐる羽村市の現状と課題

- 1 人口・世帯の推移および各種データからみた現状と課題 9
- 2 アンケート調査結果からみた現状と課題 18
- 3 社会情勢からみた地域の課題 26

第 3 章 計画の基本的な考え方

- 1 計画の基本理念 29
- 2 計画の基本的な視点 30
- 3 計画の基本目標 31

第 4 章 施策の体系と具体的な展開

- 1 施策の体系 35
- 2 施策の具体的な展開 36
 - 基本目標 1 地域における助けあい・支えあい活動の推進 36
 - 基本目標 2 安心してサービスを利用できるしくみの充実 39
 - 基本目標 3 地域で安心して暮らすための包括的支援体制の充実 42
 - 基本目標 4 市民の意識の高揚と福祉人材の育成 47

第5章 計画の推進にあたって

- | | | |
|---|-----------------|----|
| 1 | 計画の推進 | 53 |
| 2 | 進行管理と評価 | 74 |
| 3 | 市民への情報提供と計画への参画 | 74 |